

令和7年度 こども園（保育園）関係者評価
園評価・評価委員最終評価シート
子育てセンターなかぜ

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価

評価日時： 令和8年1月28日 13:30～ : 14:45

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

【園の教育・保育目標】

えがお かがやく なかぜっこ
～とことんあそんで おおきくなあれ～

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

遊びこそが豊かな学びとなる幼児期、子どもたちは好きな遊びを見つけて夢中になりながら、いろいろな体験を重ねていきます。五感をフルに使い、試したり発見したり、感動したりしながら学びの芽を育てていきます。子どもの興味、関心、好奇心、憧れなどに突き動かされ、“こんなことができる自分” “こんなことが楽しい自分”等の自分らしさを見つけていけるよう、子どもたちの好奇心から考えたり、遊びを広げたりしていけるような環境を用意しながら、子どもたちの考えや発想を大切にしていきます。そのため年齢ごとの心身の発達を押さえ、興味・関心を捉えた保育を展開していけるよう、行事や活動の在り方を考え、子どもの意欲を大切にしたいつながりのある活動ができるようにしていきます。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none">保護者には4月のオリエンテーションでグランドデザイン、重点目標について説明している。職員には3月末の会議で周知し、意識して日々の業務に取り組んでいる。毎月、振り返りシートにて重点目標の振り返りを行い、園長にフィードバックをもらい次月に繋げるようにしている。	4	<ul style="list-style-type: none">年初に職員、保護者に重点目標を伝えることで1年間ぶれずに取り組むことができている。振り返りシートで職員は重点目標を意識して取り組んでいることがわかり親として安心した。園長から直接、コメントがあることは職員にとっても次の意欲や自信に繋がり時間のない中で共有ができています。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	<ul style="list-style-type: none">指導計画は教育保育要領、全体的な計画のもとに作成しているが、昨年度の反省を参考にしたり子どもの様子を見て臨機応変に対応したりしている。園内研修等で保育環境や保育内容の見直しを行っていたが時間が足りなかった。時間の捻出が難しい。幼児クラスは異年齢での活動は充実していたが、その中で年齢別のねらいのおさえや環境作りが不十分な点もあった。	4	<ul style="list-style-type: none">運動会を参観し年齢にあった活動がしっかりとされていたが日頃の指導の成果だと思つた。年長の行事が熊騒動で変更されたが親として安心できる対応をしてもらえた。利用者満足度調査に環境についての意見が出ている点について改善につながると良い。職員からの反省点においては今年度できていたことを更に活かしながら来年度に向けて取り組んでいけると良い。

<p>Ⅲ. 子どもにとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あなたらしさが認められる 2. 安心してすごせる生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの生活リズムや成長に合わせて個々に寄り添った関りをしている。 ・散歩先や畑等で自然物に興味関心を高めたり季節を感じたりしている。 ・小さい子に優しくしたり大きい子の真似をしたりして一緒に遊んでいる姿が自然と見られる。 ・行事を「〇〇週間」として行うことで遊びを選択し、遊びごんたり継続したりすることができた。行事や活動を子どもの主体性を考え、子どもの声を生かして計画、実践することができた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に子どもの動きや様子を見て感心させられることが多かった。 ・年長児の姿を見て年下の子が憧れ、年長になることを楽しみにしている様子が伝わった。 ・帰園後、園での出来事を家族にたくさん話してくれる。その様子から日中楽しい時間を過ごし、それを家族に伝えたいという思いが溢れていると感じる。
<p>Ⅳ. 家族にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に話ができる 2. 教育・保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 教育・保育を通して地域に親しむ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログを定期的に更新し園の様子を配信している。 ・園での様子を伝え、子どもの成長を共に喜び合ったり写真の掲示などで伝えたりした。 ・挨拶やコミュニケーションは全職員心掛けているが、満足度調査から職員の挨拶についての不満、子どもの様子が伝わらないとのご意見をいただいている。 ・送迎時や面談等で子どもの成長を共感したり相談を聞いたりしているが、保護者によっては直接話をする機会が少なく情報共有の難しさを感じることもある。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度調査にも「園での様子を伝えてもらい安心している」という感想が多くあった。また、毎日、今日の様子や子どもの頑張っている姿が伝えられている。 ・送迎時に時間がとりにくい家庭とは個別の対応を工夫しているので問題はない。
<p>Ⅴ. 地域にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 困った時に頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・はますくヘルパー、親子ひろばを通し地域の子育て世帯に相談や必要な支援を行っている。 ・ボランティア受け入れを積極的に行い地域との繋がりを大切にしている。 ・一時預かり事業での受け入れも行き、子育ての負担軽減に努めている。 ・ブログやインスタグラムで園の様子や遊びの紹介をしている。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア受け入れを積極的に行っている。 ・特にはますくヘルパーは子育てのバックアップになっている。 ・園の子を一番大事にしながら「誰通」など社会的ニーズに応じ続けていける範囲でよりベターなものを探して行って欲しい。
<p>Ⅵ. 保育者にとっては</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個性がいかされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・行事を「〇〇週間」で行うことで伝統行事についてより一層親しんだり楽しんだりすることができた。 ・職員の研修の成果を披露する場はあったが個性や特技を生かす機会が少なかった。 ・職員一人ひとりが自分の業務に責任を持って遂行しているが職員間の連携や報連相を課題に感じている職員が多い。 ・学んだスキルを皆と共有できるよう園内研修で広げる機会を設けた。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や活動の中で先輩保育者が若手保育者に適切なアドバイスをしていた。職員間の連携が素晴らしいと思った。 ・研修等で学んだことを職員間で共有しながら保育に繋げている。 ・職員が子どもと接するとき、子どもの目線で表情豊かに接している。子どもが安心して接している様子が伺えた。 ・温かな人間関係をいつも感じている。